

企画趣旨説明（冒頭挨拶 文化資料室 竹内 啓）

それでは、ただいまより、平成二十三年度「文化資料室企画講演会」を開催いたします。本日はご多忙の中、大勢の方にお集まりいただき、ありがとうございます。

当文化資料室では、公文書館の開設準備に着手し始めた平成二十年度より年に一度企画講演会を開催しております。今年で四回目となります。昨年度は「札幌市公文書館に期待すること／利用者としての視点から」という企画テーマで、外部有識者の視点による公文書館の利用についてお話しいただきました。どちらかという理論的なお話だったように思います。

さて、本年は六月に策定しました「公文書館整備計画」により開設までのスケジュールがかなり具体化してきたこととありまして、「公文書館開設準備期の留意点」を企画テーマといたしました。

具体的には、先進的公文書館で直接に開設準備や館の管理運営に関わられた方々を講師としてお招きすることで、開館前後、特に腐心された事柄につき成功例・失敗例を問わず忌憚なくお話しいただきまして、本市にとって参考となるような実務的アドバイスを沢山頂戴したいというのが今回の企画の趣旨でございます。

平成23年度 文化資料室企画講演会

企画テーマ

公文書館開設準備期の留意点

講師・パネリスト

高野 修氏（元藤沢市文書館長）
富永 一也氏（沖繩県公文書館主幹）

パネリスト

鈴江 英一氏（元国文学研究資料館史料館長、元北海道教育大学教授）
コーディネーター
大濱 徹也氏（国立公文書館公文書アドバイザー、筑波大学名誉教授）

札幌市では、本年6月策定の「札幌市公文書館整備計画」をもとに、平成25年7月に予定されている公文書館の開設に向けて準備を進めているところで、

本文化資料室では、開設準備事業の一環として、毎年、公文書館関連の企画講演会を開催しております。

本年度は、先進的公文書館の開設に関わり、開館後も館運営の中心として活躍してきた、元藤沢市文書館長高野修氏と沖繩県公文書館主幹富永一也氏のお二人を講師としてお招きし、公文書館開設準備期の実務上の留意点をテーマとして具体的にお話しいただきます。

講演後は、パネルディスカッションにより、議論を深めてまいります。

日時：平成23年10月21日（金）13時30分～17時00分

場所：豊水会館2階和室（中央区南5丁目2・田豊水小学校複合施設内）

主催：札幌市文化資料室（ℓ011-521-0205）

本日はまず最初に、高野修さんに「公文書を語る／今、公文書が危ない」と題した講演をお願いし、続いて富永一也さんに「創業の秋（とき）」に臨んで札幌市公文書館の未来」という講演をしていただきます。続くパネルディスカッションでは、パネリストとして基調講演の講師お二人に加えて、鈴江英一さん、コーディネーターを、大濱徹也さんをお願いいたします。

それでは、最初の基調講演の講師であります高野さんにご登壇いただきたいと思います。